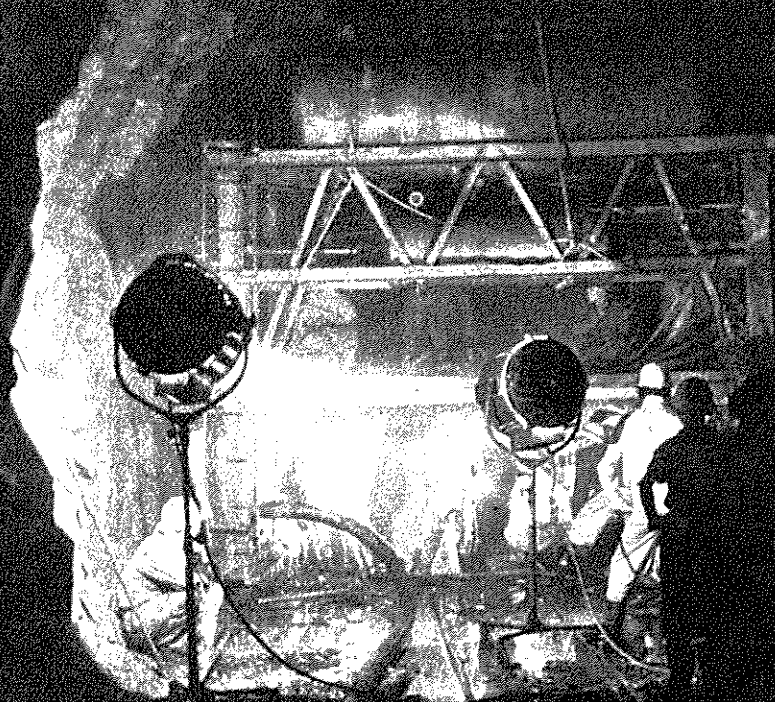


順調に進工する 兼見トンネル



本年1月着工した愛知用水幹線中最大の構造物である延長5,136mの兼見トンネルは、その後まことに好調の進捗ぶりを見せている。本坑の1日平均進捗は18m-20mで、すでに800mを掘進、工程進捗は23%に達している。8月10日頃からコンクリート巻立も開始されるが、非常に複雑な地質のもとで各種の工法を採用しながら、着工以来無事故というのは賞讃に値するであろう。本号では第1号区間における全断面掘削の状況を紹介する。

(写真は1号区間の本坑で10ブームのドリルジャンボによる全断面掘削)